

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【環境省】

施策番号	29106	施策名		地球温暖化対策技術開発等事業			
新規／継続	継続	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	○
競争的資金	○	e-Rad	○	社会還元	バイオマス		
施策の目的及び概要	エネルギー起源二酸化炭素削減対策技術の開発及び先端技術の実証研究を行い、国家戦略の柱であるグリーンイノベーションを推進。						
達成目標及び達成期限	平成32年の温室効果ガスの排出量の25%削減(平成2年比)及び再生可能エネルギーの一次エネルギー供給に占める割合10%の達成に寄与する技術の実用化を目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	個々の技術課題目標を設定し、基本的に3年間を期間として技術開発を実施。採択にあたって、期待されるCO2削減量も評価対象としているところであり、平成22年度までの本事業の成果により、平成32年までに5,300万トン-CO2/年の削減を実現。						
23年度の研究開発目標	○重点公募課題を設定し、「グリーンイノベーション推進実証研究領域」を中心として技術開発提案を募り技術開発を推進する。 (重点公募を予定している課題) ・ 電気自動車の適用車種の拡大等に関する技術開発 ・ 再生可能エネルギーの導入と建築物間のエネルギー融通に関する技術開発 ・ 廃棄物系バイオマスの利活用に関する技術開発 ○特別要望枠として「再生可能エネルギー・トレードオフ克服技術開発領域」を設け、この分野の技術開発を重点的に推進する。 (重点公募を予定している課題) ・ 騒音を回避・最小化した風力発電に関する技術開発 ・ 傾斜掘削等景観への影響を回避・最小化した地熱発電に関する技術開発等						
施策の重要性	開発された優良な低炭素化技術を社会に組み込むためには、技術を如何に最適な状態で組み合わせシステム化するか、そのシステムを社会に組み込むにはどのようなシナリオが必要か、社会が受容するためにはどうすべきか、といった研究が必要であり、「グリーンイノベーション推進実証研究領域」では、主要なステークホルダーの参画を得て、これらの検討を行うこととしており、一層の推進が必要である。また、導入の加速が求められている再生可能エネルギーについては、一方で自然環境、生活環境への悪影響が指摘される事案も出ており、その早急な克服が必要となっている。このため、「再生可能エネルギー・トレードオフ克服技術開発領域」を設け、該当する技術開発に集中的に取り組む必要がある。このほか、地球温暖化対策を進める上で、取組が不足している課題の解消に努めていく必要がある。						
実施体制	研究開発主体は公募により決定。 外部有識者委員会において、実施体制を含めて優れていると評価された提案者(民間企業、大学等)に委託(一部補助)して実施。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
5,022				7,000			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				—			
委託事業 1課題あたりの金額:138 ・うち間接経費:41 採択予定課題数:29 その他事務経費:0							

H23概算要求額の内訳	補助事業 1課題あたりの金額:83 ・うち間接経費:0 採択予定課題数:12 その他事務経費:0 1課題あたりの金額:250 ・うち間接経費:75 採択予定課題数:8 その他事務経費:0		
期間	H16～	資金投入規模(億円)	539
これまでの成果(継続のみ)	平成16年度には38件、17年度には33件、18年度には33件、19年度には36件、20年度には40件、21年度には34件、平成22年度には54件の技術開発を実施。これまでに市販電気自動車に搭載するリチウムイオン電池、白色LEDを用いた高効率照明、シリコン使用量を大幅に低減した太陽電池の開発等の成果を挙げている。		
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	本事業の担う地球温暖化対策技術の開発は、新成長戦略、及び科学技術基本政策策定の基本方針においても国家戦略の柱として位置付けられるなどしており、事業開始時よりも一層の加速が必要とされる社会情勢となっている。		
昨年度優先度判定(継続のみ)	優先	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	バイオエタノール生産における食料との競合、及びLCAから見た炭素収支等に留意すべきとの指摘を踏まえ、食料と競合しない廃棄物系バイオマスの利活用を重点公募課題(予定)に設定するとともに、バイオマス関連の課題については、LCAによる温室効果ガス削減率が50%以上と想定されるものに限ることとする。
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	「国民との科学・技術対話」に積極的に取り組むよう公募要領等に記載予定		